

インパクト志向金融宣言

第14回ワーキングレベル会合

2025年4月24日09:30～11:30
オンライン・リアル同時開催

インパクト志向金融宣言

Japan Impact-driven Financing Initiative

本日のアジェンダ

1. 定足数確認、議長選出(決議)
2. 新規加盟機関ご挨拶
3. (第1号決議事項)第15条2項に基づく運営規程の改正
4. (第2号決議事項)第15条8項に基づく予算の修正決議

QA

5. (第1号報告事項)分科会活動報告
6. (第2号報告事項)TOCの議論
7. (第3号報告事項)その他の報告事項
8. 今後の予定、事務局連絡

(ネットワーキング/ランチ) 11:30～13:00

定足数確認・議長・副議長選出

- 定足数の確認
- 議長の選出(決議)
 - 運営規程第16条に基づき、**運営委員会委員長**の議事運営により、総会の議長を選出する。

新規署名機関の紹介

- 署名機関数は70社(署名金融機関64社、署名協力機関6社)

署名日	署名金融機関	署名協力機関
2月1日付	—	—
3月1日付	SMBC日興証券株式会社	—
4月1日付	インパクトサークル株式会社	—
	株式会社コンコルディア・ フィナンシャルグループ	
	脱炭素成長型経済構造移行推進機構	
5月1日付		PwC
今後署名予定	EURAZEO	

議案書

- (第1号決議事項)第15条2項に基づく運営規程の改正
- (第2号決議事項)第15条8項に基づく予算の修正決議
- (第1号報告事項)分科会活動報告
- (第2号報告事項)TOCの議論
- (第3号報告事項)その他の報告事項

第6条(署名金融機関及び署名協力機関の権利及び責務・義務)を追加

第5項: 行動規範を遵守するその他「宣言行動規範」を定める

- 【個人情報保護】
- 【守秘義務】
- 【利益相反の禁止】
- 【誹謗中傷の禁止】
- 【報告の義務および虚偽表示の禁止】

第6項: 前項の宣言行動規範に違反した場合の対応: 運営委員長による注意・嚴重注意、運営委員会による改善勧告。運営委員長による当該処分を検討のためのコンプライアンス委員会への諮問

第32条(コンプライアンス委員会)を規定

第36条(プロボノ・サポーター)を規定

第43条(住所)を規定

別表
会費算定にかかる運用資産・資産規模の時期を明示

2月脱退(2)	<ul style="list-style-type: none"> ● HushDash ● ドリームインキュベータ
3月脱退(17)	<ul style="list-style-type: none"> ● 立命館 ● 第一勧業信組 ● 山口キャピタル ● グローバルブレイン ● ZUU ● NVCC ● BIG IMPACT ● ANRI ● ファルス ● FVC ● ベンチャーラボ ● グロービス ● Taliki ● On&Board ● シグマクシス <p>【協力機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デロイトトーマツ ● CSRデザイン環境投資顧問デザイン

3月署名(1)	<ul style="list-style-type: none"> ● SMBC日興証券
4月署名(3)	<ul style="list-style-type: none"> ● コンコルディア・フィナンシャルグループ ● GX推進機構 ● インパクトサークル
5月署名(1)	<ul style="list-style-type: none"> ● PwC

4月1日 署名機関数

署名機関数 70(金融:64 協力:6)

5月1日 署名機関数

署名機関数 71(金融:64 協力:7)

- 2025年1月の代表者総会兼 WL会合にて、アンケートに基づく、2024年12月時点の継続機関数を前提に予算を決議
 - 2025年4月時点の確定済署名機関数、制作物作成費用、および一部人件費の内訳等の予算を見直し。
 - 主な変更点
 - 収入 22.3百万円 => 27.63百万円 (+ 5.33百万円)
 - (新規)分科会制作物作成補助費用(デザイン) => +80万円 (20万円x4)
 - (新規)イベント運営当日サポート => +60万円 (2万円x2人x15回)
 - 人件費の内訳 (人件費の合計15,000,000円は変更無し)
 - サポートスタッフ人件費 4,000,000円⇒5,346,000円
 - プロフェッショナルスタッフ人件費 11,000,000円⇒9,654,000円
- * 理由:2025年度に向けて想定される業務量に合わせて正しく積算すると2名合計で5,346,000円の予算額が妥当と考えられるため。人件費予算については、予実乖離可能性が大きいいため、人件費総額を変更しない範囲では、サポートスタッフとプロフェッショナルスタッフの人件費予算の科目間流用の自由度を頂きたい。但し、流用は、運営委員長の事前了解を必要とするとともに、運営委員会には流用が決まった段階で報告する。

想定収入	27,630,000		12月時点想定	22,300,000
費目	金額（円）		1月時点	参考（2024年1月～12月）
プロフェッショナルスタッフ人件費(業務委託)	9,654,000		11,000,000	10,611,289
事務局スタッフ人件費(業務委託)	5,346,000	* 署名機関数増加、会費管理・契約管理増加(業務量一定量増加を想定)	4,000,000	3,542,710
外部委託費用	3,000,000	*年度後半に研修事業実施を想定	3,000,000	6,000,000
プロGRESSレポート作成費用	2,500,000	*昨年より制作費用を削減を想定	2,500,000	3,141,820
ウェブサイト維持費用	200,000		200,000	188,540
ウェブサイトコンテンツ作成/コンテンツ修正/掲載費用	700,000	*コンテンツを新規作成し発信を想定	700,000	—
IT関係(オンライン会議提供サービス、サーバー等)	300,000	*これまではSIIFが負担	300,000	—
分科会制作物作成費用	800,000	*20万x4		
イベントサポート経費	600,000	当日受付・セットアップ等のサポート費用(2万円x2x15回)		
予備費	4,530,000		600,000	—
	27,630,000		22,300,000	23,484,359

↑ 監事提出資料

想定収入	22,300,000		
費目	金額（円）		参考（2024年1月～12月）
プロフェッショナルスタッフ人件費(業務委託)	11,000,000		10,611,289
事務局スタッフ人件費(業務委託)	4,000,000	* 署名機関数増加、会費管理・契約管理増加（業務量一定量増加を想定）	3,542,710
外部委託費用	3,000,000	*年度後半に研修事業実施を想定	6,000,000
プログレスレポート作成費用	2,500,000	*昨年より制作費用を削減を想定	3,141,820
ウェブサイト維持費用	200,000		188,540
ウェブサイトコンテンツ作成/コンテンツ修正/掲載費用	700,000	*コンテンツを新規作成し発信を想定	—
IT関係(オンライン会議提供サービス、サーバー等)	300,000	*これまではSIIFが負担	—
予備費	600,000		—
	22,300,000		23,484,359

↑ 監事提出資料

2025年4月23日時点で

- 計 14機関
- 合計 9,157,143円

決議

1. (第1号決議事項)第15条2項に基づく運営規程の改正
2. (第2号決議事項)第15条8項に基づく予算の修正決議
(注)人件費総額15百万円を上限とし、人件費のなかの科目間流用は運営委員長の判断で可能。

- 決議に参加できるのは、「署名金融機関」の方です。
- リアル参加の方は代表の方が挙手にて賛否を表明ください。「反対」「棄権」の決を採ります
- オンライン参加の方は、各機関代表者の方が、ZOOMの投票機能にて「賛成」「反対」のボタンを押してください。(なお棄権の方は投票なさらなくて結構です)

分科会	座長
地域金融	金井さん、鄭さん
ソーシャル指標	松原さん、石井さん、朝野さん
VC	堤さん、秦さん
AO/AM	松本さん、安間さん
融資・債券	末吉さん、清水さん、橋爪さん
ICEA	安間さん

セミナー・イベントの予定

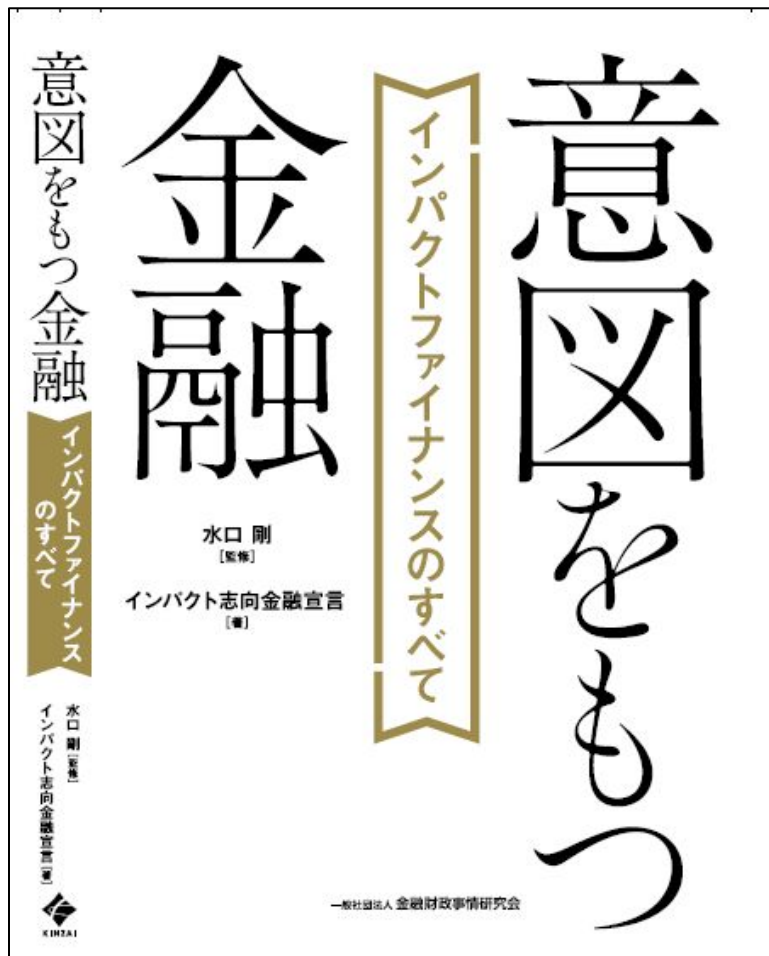
主催/共催イベント

5月9日	SDG Sustainable Finance Initiative	宣言主催
5月13-16日	Social Impact Day	SIMI主催
5月20日	GSG Impact Conference	GSG Impact JAPAN主催
5月28日?	英インパクトファンド Lightrockによる講演	宣言主催
6月?	"DIOM" project (a decentralised impact outcome marketplace)に関するセミナー	宣言主催
7月?	Impact Principles Secretariat Team	IP 主催

- 別添資料

その他の報告事項

- 出版企画について
- 運営規則の制定



水口 剛 監修 インパクト志向金融宣言 著

『意図をもつ金融』

—— インパクトファイナンスのすべて ——

ご予約申込書

【主要目次（予定）】

序章 インパクトファイナンスとは何か	第4章 インパクト志向金融の実践 ——ケーススタディ
1 インパクトファイナンスへの注目、なぜ今なのか？	《未上場株式》 キャピタルメディカ・ベンチャーズ/ GLIN Impact Capital/第一生命保険/ はたらく FUND/UntroD Capital Japan
2 インパクトファイナンスの定義	《上場株式》 かんぽ生命保険・コムズ投信/ 三菱UFJ信託銀行/リソナアセットマネジメント
3 インパクトファイナンス市場は4年で10倍に	《融資》 SBI新生銀行/三井住友信託銀行/ みずほ銀行
第1章 インパクト志向金融宣言の挑戦	《債券》 大和証券/ティー・ロウ・プライス 《地域金融》 静岡銀行/京都信用金庫/肥後銀行
1 インパクト志向金融宣言の立ちあげ	第5章 インパクトファイナンスを巡る課題
2 動き出したインパクト志向金融宣言	1 インパクトとリターン
3 インパクト志向金融宣言にける思い	2 システムレベルの思考と投資
第2章 インパクトファイナンスをめぐる潮流	3 インパクトファイナンスの「連携」
1 インパクトファイナンスの国際動向	終章 インパクト志向金融が描く未来
2 インパクトファイナンスを支える原則類・フレームワーク等	1 システムレベルのリスクに挑む
3 日本におけるインパクトファイナンス	2 金融の再定義
4 国際比較からみた日本の特徴	3 インパクト志向が主流の未来に向けて
第3章 IMMの理念と実践	コラム
1 IMMとは何か	
2 IMMの発展と定着	
3 IMMの課題	

価格および印税の取り扱い

価格:4,180円(税込) **特別価格3,740円(税込)** * **チラシ経由**

【お申込み・お問合せ】

- 一般社団法人金融財政事情研究会出版部 (uketsuke-s@kinzai.or.jp)
- 〒160-8519 東京都新宿区南元町19 TEL 03-3355-2251 / FAX 03-3355-1776

著者割(執筆機関)**3,344円(税込)**

- 1カ所への搬入の場合は、著者割が適用有
- 宣言事務局(小笠原・三井)経由でお申込みの場合のみ
- お申込みいただいてからお届けするまでには10日前後かかる場合あり

印税の取り扱い:

- 著者＝インパクト宣言
- 本体価格(税別)の10%
- 寄稿組織への原稿料:売れ行きを見て事後的に決めてから、①辞退、②受け取る、の どちらかを選択していただく。

運営規則第2号(2025年4月24日制定) 別資料

第26条(決議事項)

運営委員会は、本宣言の活動を主導的に実行・推進・円滑化するために、本規程及び総会の決議の範囲内で、次に掲げる事項について決議することができる。

11. 本規程の下に位置付けられる「規則」あるいは重要な「活動方針」・「指針」の決定。但し、運営委員会は、第1条第3項の決議を経ることなく、個別の署名機関の義務を強化することはできない。

今後の予定、事務局連絡

■ 今後のワーキングレベル会合

2025年 7月24日 (木)

2025年 10月22日 (水)

2026年 1月23日 (金)